

# 成功の秘訣＝書く力、を『獲得』するために。

書くことの専門家がお伝えする「書く力」についての本音

ヴォイス フリーライティング研究所

新垣 俊

## ○著作権について

「成功の秘訣＝書く力、を『獲得』するために。」(以下本レポート)は、  
著作権上で保護されている著作物にあたります。

本レポートの取り扱いについては以下の点にご注意ください。

- ・ 著作権はヴォイス フリーライティング研究所 新垣に帰属します。
- ・ 著作者の許可なく、本レポートの一部または全部を転載・販売・複製・流用・再配布・公開することを一切禁止します。

## ○免責事項

- ・ 本レポートによりいかなる損害が発生した場合でも、その一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## 目次

### はじめに

- 1、 **書くことを教えるということ**
- 2、 **書く力の分類**
- 3、 **力のつけかた**
- 4、 **そんなこと言われても困る！という方に**
- 5、 **ミニレポートの分析**
- 6、 **書くことの専門家の本音**

### おわりに」のあとに

「おわりに」のあとに～私のブログより抜粋～

## はじめに

まず、少しだけ私のプロフィールをご紹介します。

新垣俊(あらかき しゅん)

ヴォイス フリーライティング研究所代表

大学非常勤講師

**書けない人が書けるようになる、**

さらに、**書くことの意義を実感できるようになる**手法の専門家。

**書くことで自分の内面に気づき、自ら育つ力をひきだすその手法**は、単にうまく書くことだけを目的とする指導とは一線を画す。

アメリカ人研究者との共同研究、大学での講義、学校教育との連携など、書く力を育てるための幅広い活動を展開している。

著書に『みんなで、ひとつ。』(共著。なみのいろ出版)がある。早稲田大学法学部卒。

**より自由に力強く生きるための「書く力」を与える仕事**をしています。

アメリカの理論を学び自身の指導体験と結び付けて、日本語

で書くことの力を最大限にひきだす指導をしています。

この理論の専門家は、日本で私しかいません。

私が、書くことの専門家になった理由はこちらをお読みください

(評判よいです。自分でいうのもなんですが)。

<http://multiplevoice73.web.fc2.com/>

## 1、書くことを教えるということ

「書く」ことに関して多くの情報がネットではとびかっています。私も興味をもって入手・購入したことがあります。首をかしげるものも多いです。

「この人たちは、目の前で、書くことを教えたことがないのだろうな」と思います。「教えたことがあるとしても、あってもごく少数だろうな」と感じてしまうのです。

書けない人が本当につまづくポイントがわかっていないようにみえるからです。

自分ができることは他の人にもできると思っているのだろうか。成功した完成品のカラクリを教えれば、だれでも成功品がつけるとおもっているのだろうか。そんな疑問を感じてしまいます。

情報を出している方、本人は書く力をもっているのかもしれませんが。しかし、その方は、一人でも育てたことがあるのでしょうか。

レターの手伝いではなく、だれかの書く力を育てた経験があるの

でしょうか。

自分の経験だけで考えているだけではないのかな？そう思ってしまいます。

編集の仕事の経験もある私が、これまで痛感してきたことは、自分が書くことよりも、誰かの書く力を育てることは、はるかに難しい  
ということです。

自分が書けるからといって、人の書く力を育てることができるわけではないのです。それらは別の技術なのです。

では、どうしたら良いのか。このことについては後述します。

## 2、 書く力の分類

本レポートでは、書く力を3つに分類します。

1、 基本

2、 標準

3、 実践

この3段階にわけるのであります。

### ● 基本

1の「基本」は、読んできちんと意味がわかるレベルの文章をさします。以下のチェックリストを用いて、自分の文章をチェック・修正していきましょう。

#### 基本チェックリスト

読み返して、自分ですんなり意味がわかるか

一文が長すぎないか

文章が長すぎないか

自分たちしかわからないような専門用語は使われてないか

単にブログやメルマガを書くというだけなら、これだけで十分かもしれません。記事や書かれた内容に、読者が興味をもっているのなら、読んで理解して、受け止めてくれるはずです。

## ● 標準

2の「標準」は、主張や伝えたいことを、読者に伝えることができるレベルの文章をさします。読んで意味がわかるだけでは、足りません。ある程度、届く力・理解させる力をもつことです。以下のチェックリストでチェック・修正してみてください。

### 標準チェックリスト

読み返して、自分の主張を明確に書かれているか

主張の根拠は、はっきりしているか

具体的であるか・例はあるか

改行・一行の字数・文字の大きさという点で読みやすいように配慮しているか

## ● 実践

3の「実践」は、セールスレターやセールスのためのメルマガなど、読者に行動を促すための文章です。読んで意味がわかるだけでは、人は動きません。さらに、工夫が必要になります。以下のチェックリストでチェック・修正をしてみてください。

### 実践チェックリスト

タイトル・冒頭がひきつけるものになっているか

読者を想定しているか

その読者の視点で、書かれているか

読者に、読んだあと何を感じて欲しいか、どう行動してよいか  
が明確になっているか

### 3、力のつけかた

私は、基本→標準→実践の順番で力をつけていったほうが良いと考えています。

読みにくい文章・何を言いたいのかはっきりしない文章で、人を納得させたり・ひきつけたり、ましてや、行動させるなんてことは無理だからです。基本のレベルを身につけるべき段階の人は、あせらずに、読んでわかりやすい文章を、まず練習すると良いと思います。「読んで意味がわかる文」という基本レベルをきちんと身につけるのです。

また、納得させたり・なるほどと思われるだけの文章で、人を行動させることは困難です。標準レベルを身につけるべき段階の人はあせらずに、読んでわかりやすい文章を、まず練習すると良いと思います。「読んで、納得できる論理的な文章」という標準レベルをきちんと身につけるのです。

標準レベルまで、力をつけてから、読者に、行動をうながす文章を狙うことだと思います。つまり、基本→標準→実践の順番で力をつけていったほうが良いということです。

多くの人がいきなり実践を目指して、そのせいで、つまづいているように思えます。

一つひとつ段階を踏んだほうがかえって近道だということなのです。

#### 4、そんなこと言われても困る！という方に

段階をおって順序良く力をつけるほうが、有効であるということをお話しました。しかし「そんな余裕はない！」「はやく実践の力がほしい」という方もいるでしょう。

そんな方のために、実践的な文章を書くコツをお教えしましょう。

ポイントは以下の4つです。

- 1、 起こりうる（起こっている）問題点
- 2、 読者との関係
- 3、 読者に「自分にもできる」と思わせる
- 4、 具体策の提示

順をおって説明しましょう。

##### ●起こりうる（起こっている）問題点

問題点を指摘します。現在それがいかに問題か。またそれをほっておくと、この先どんな問題があるかということを理解して

もらいます。例、肥満・成人病など

- 読者との関係

問題点をどれだけ、指摘しても「自分には関係ない」と思われてしまっははおしまいです。「自分にも関係がある」と思ってもらわなくては、**続きに興味をもってもらえません。**

- 読者に「自分にもできる」と思わせる

問題点を指摘して、読者の関係性を示しても、それではいたずらに不安に陥れているだけです。人は**絶望してしまうと行動しません。希望を差し出してあげる必要があるのです。**

- 具体策の提示

自分に関係のある問題点に気づき、その中にも、しっかりと希望があることを理解した読者に、次に示すべきは、具体策です。  
この食べ物を食べれば良い、この運動をすれば良いなど、「何をすれば、**解決するか**」ということを具体的に示してあげるので

す。

例

てんつくマンという人の話をきいたあとに、私が作成したミニレポートをごらんください。上であげたコツに合う形で書かれています。次ページからです。

はじめに

信じますか？

それとも笑いますか？

このままいくと地球は、**あと100年で、約6度も気温があがる**と言われています。

そうすると、人類は、ほとんど死滅するそうです。

つまり、**「このままいくと」あと100年で、人類は、ほとんど死滅する**ということです。

信じますか？

それとも笑いますか？

無視したり、なかったことにしますか？

それとも考えたり、何か始めたりしますか？

環境問題の専門家、松本英揮さんの話によれば、

**「このままいくと」地球は、あと50年で、約6度も気温があがる**そうです。

つまり、松本さんの話によれば、

**「このままいくと」あと50年で、人類は、ほとんど死滅する**というこ

とです。

50年なのか、100年なのか、どちらが正しいのか、そんなことはわかりません。

どちらが正しいのかはどうしても良いことです。

言えるのは、かなりヤバい状況にあるという事。

あと**10年が勝負**だとも、言われています。**10年過ぎると、悪循環が始まる。**

雪ダルマ式に状況が悪化し、**手をつけられなくなる。手遅れになる。**

信じますか？

それとも笑いますか？

信じないなら、根拠を示してください。私も安心したいです。  
笑うなら、理由を教えてください。私も笑いたいです。

「なんとなく」や「そんなの信じられない」ではだめです。

根拠も理由もありません。そんな言葉では安心できないし、笑えません。

しかし、ここに良い知らせがあります。一人ひとりができることが具体的に、すでに、考えられているのです。

## 1、一人ひとりができること

CO<sub>2</sub> 100 グラムを減らすための、一人ひとりができる、ひとしずくを「1 ポトリ」とよみましょう。(参考:辻信一 監修 『私にできること 地球の冷やし方』 ゆっくり堂 2005年 第一版)

- コンセントを差しっぱなしにすることで、使っていない間も消費する電力のことを**待機**

**電力**といいます。家庭の電力消費量全体の**10%近く**を占めます。これは**原子力発**

**電所、約 4 基**にあたる数字です。

できること→例えば、オフシーズンにエアコンのプラグを抜くと=0.2 ポトリ

- 物を**輸送**することで、多くのCO<sub>2</sub>がでます。**国産の**、しかもできるだけ**地域で**

**とれた食べ物を選ぶ**ことで、エネルギーの消費も、CO<sub>2</sub> 排出も削減できます。

できること→例えば、アメリカ国産大豆の豆腐のかわりに、

**国産大豆の豆腐を選ぶと=2 ポトリ**

アスパラガス 1 本、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・4.1 ポトリ  
イチゴ 5 個、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・6.2 ポトリ  
たまねぎ 1 個、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・1.4 ポトリ  
キャベツ 1 個、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・3.6 ポトリ  
ダイコン 1 本、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・1.8 ポトリ  
レタス 1 個、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・3.6 ポトリ  
モモ肉 200 g、国産にする・・・・・・・・・・・・・・・・・・0.3 ポトリ

※お肉について

- 1 k g の鶏肉を作るのに、必要な穀物(とうもろこしで計算)→4 k g 必要な水→4500 k g
- 1 k g の豚肉を作るのに、必要な穀物(とうもろこしで計算)→7 k g 必要な水→5900 k g
- 1 k g の牛肉を作るのに、必要な穀物(とうもろこしで計算)→11 k g 必要な水→20000 k g

- アイドリングストップを5分すると・・・1.1ポトリ
- 往復4kmの道のりを車に乗らずに歩くと・・・7.7ポトリ
- 3km移動するのにタクシーのかわりにバスを使うと・・・9.8ポトリ
  
- エアコン冷房の設定温度を27度から28度にする1日・・・0.5ポトリ
- テレビを見る時間を3時間減らすと・・・1.2ポトリ
- 冷蔵庫、冬場は設定温度を「強」から「中」にする1日・・・1.6ポトリ
- 冷蔵庫のモノの詰め込み過ぎをやめると1日・・・0.7ポトリ
  
- レジ袋1枚(15リットル)をもらうのをやめると・・・0.9ポトリ
- 食品トレーを10枚リサイクルすると・・・0.9ポトリ
- スチール缶を2本リサイクルすると・・・1ポトリ
- ペットボトルの使い捨てを1本やめると・・・1.4ポトリ
  
- シャワーを1分短縮すると・・・0.6ポトリ
- お風呂の湯を選択にまわすと・・・0.5ポトリ
- 杉の木を1本植えると1年間に・・・1.4ポトリ

2、誰でもできる大事なこと！

(参考 『私たちは何かを決めるとき七代先のことを考えて決める』TEAM GOGO! 2007)

○ **省エネ製品を使う！**

省エネ製品を選ぶと、半分まで電気を減らしても今までと同じ暮らし方ができる。

例えば、省エネ電球(パルックボール プレミア)。日本中の家庭が、**たった1個**、白熱

電球を省エネ電球に替えただけで、**自動車92万台が消えたのと同じほど**

**のCO2削減になる**(省エネ電球は、価格は6倍だけど、寿命は10倍のすぐれもの)。

## ○ 海外産の食べ物を国産にする！

輸送からでるCO<sub>2</sub> は大きい。地元で採れたものを食べるのがCO<sub>2</sub>排出削減にとってもよい。

## ○ 買い物の時、賞味期限の新しいのから買わないで、手前のものを買うことでゴミを減らす！

## ○ 水筒をもつ！ ○肉食を減らす！ ○スイッチつきコンセントで待機電力を減らす！

## ☆そして、そして、大事なこと！

どれだけ、みんなが省エネをしても、どれだけ企業が努力しても、どれだけ地産地消に取り組んでも、**戦争を止めないと温暖化は止まらない。戦争と軍事ほどCO<sub>2</sub>を出すものはない。**

(中略)

おわりに

ここにあげられたこと以外にも、私たちにできることは、あると思います。

木もサンゴも、本当に貴重です。大事にしましょう。

そして、ゴミを減らすこと。まずは、できることから良いのです。

できることから、始めてみませんか。

あと10年が、勝負です。

勝ちましょう。未来を勝ち取りましょう。

きっと、うまくいくはずです。

ここまでお読みいただき感謝します。

## 5、ミニレポートの分析

まず、環境問題の深刻さを伝えます。

その次に「50年」という具体的な数字を出すことによって、自分にも関係のある問題だということを知ってもらいます。

その後、具体策を細かく提示することで、「自分にもなにかできる!」という可能性を示します。

そして、「誰にでもできる重要なこと」を、シンプルかつ、具体的にまとめることで、行動しやすくしているのです。

4つのポイントを使っているのです。

- 1、 起こりうる（起こっている）問題点
- 2、 読者との関係
- 3、 読者に「自分にもできる」と思わせる
- 4、 具体策の提示

あなたも、この4つのポイントを使って、ぜひ、実践的な文章を書きこなしてください！

## 6、書くことの専門家の本音

さて、ここまで以下のことをお話してきました。

- 1、 チェックリスト
- 2、 基本→標準→実践という流れで力をつけることの重要性
- 3、 実践編のコツとしての4つのポイント

もしも、納得できたり、お役にたてる部分があったなら、ぜひ、お使いください。

ここからが、本音の部分になります。

書くことに関するネット上の情報について、私は冒頭で以下のよう  
に述べました。

「書けない人が本当につまずくポイントがわかっていないように  
みえる」

「編集の仕事の経験もある私が、これまで痛感してきたことは、  
自分が書くことよりも、誰かの書く力を育てることは、はるかに難

しい」

つまり、チェックリストや、コツを教えたくらいで書く力をつけるのは困難なのです。

ただ、もともと「ある程度の書く力」をもっている人は、本レポートであげたチェックリストや、コツで書く力を伸ばすことができる  
と思います。

しかし、「ある程度の書く力」をまだ、もっていない人はチェックリストや、コツを習っても書けるようにはならないのです。

なぜでしょうか？

何を書いたらいいのかわからないからです。

アイデアをどうやって生み出し、組み合わせて、形にしていけば良いかわからないからです。

書く内容がなければ、チェックしようがないし、コツを知っても型をうめていくことができません。

この部分が、書くことを教えている人たち（特にネット上で）が、きちんと、みすえていないポイントなのです。

●ヴォイス フリーライティングについて

ヴォイス フリーライティングでは、これまでの文章読本が、軽くあつかってきた本質的な部分にきちんと光をあて、トレーニングをできるようにしていきます。

多くの人が、「書きなさい」ですませてきたところをきちんと拾い上げています。「書けって言われたって、書けないよ～」という悩みに対応しています。

「何を書いたらいいのかわからない」

「アイデアをどうやって生み出し、組み合わせて、形にしていけないかわからない」

という、根本的な問題から逃げずに、その部分を変えていきます。

書く内容を生みだし、アイデアを形にしていく力をきちんと、つけていきます。

ヴォイス フリーライティングを学べば、内容に困らず書けるようになるから、書く力をいかすことができるのです。

書くことを人生の武器として使いこなすことができます。

ほとんど、教えられていないことです。

また、今回お伝えしませんでした、ヴォイス フリーライティ

ングには以下の効用があります。

●**ヴォイス フリーライティングの効用**

- 1、書くことが楽になる・楽しくなる
- 2、自分のこと(考えていること・やりたいこと)がわかる
- 3、書き言葉が、読んだ人にはたらきかける力をもつ
- 4、思考や行動にプラスの影響をあたえる
- 5、アメリカでは健康状態を改善する効果も報告されている

※興味があるかたは、以下をご覧ください。

**ヴォイス フリーライティングを学ぶためのテキスト**はこちらです。

<http://multiplevoice73.web.fc2.com/>

書く力をきちんと身につけたい方は、ぜひ、上記HPにアクセスしていただきたいと思います。

また、上で述べましたが、チェックリストやコツは人によっては大きな力になります。

そのような、「使える人には使えるノウハウ」もこれからも出していく予定です。

## おわりに

書くことの専門家としての本音を述べました。

書く力の根本は、そう簡単に伸ばすことができるものではありません。ましてや短いレポートでは困難です。

内容を生み出す力と、書く力は密接に結びついているからです。

書くことを仕事として教えることを仕事としている私でも困難なことを、多くの方はまるで簡単なことのように無料・有料レポートにして配布しています。

不思議なことです。

書く力は、じっくり取りくまなければ身につかないものです。そう思います。

そして、じっくり取り組める人は、少ないからこそ、取り組んだ人は差をつけることができるのです。

大きな差をつけることができるのです。ぜひ、取り組んでみてほしいと思います。

書くことは、大きな力をもっています。伝えるだけでなく、自分自身を突き動かし、変えていくことに最も効率的です。

望むように生きるための大きな力になります。ぜひ、学んでほしいと思います。

**ヴォイス フリーライティングを学ぶためのテキスト**はこちらです。

<http://multiplevoice73.web.fc2.com/>

また、通信講座については、以下に「資料希望」というタイトルでメールいただければ対応いたします。

[multiplevoice73@yahoo.co.jp](mailto:multiplevoice73@yahoo.co.jp)

よろしければメルマガにご登録ください。

メルマガ「コミュニケーションパワー！」の登録・解除は

こちら→[「コミュニケーションパワー！」](#)

メルマガ「自分を変えるライティング！」の登録・解除は

こちら→[「自分を変えるライティング！」](#)

最後までお読みいただき、ありがとうございました！

## 「おわりに」のあとに～私のフログより抜粋～

てんつくマンによれば、

これからの 10 年で、環境問題の大勢が決まってしまうらしい。

ここ 10 年で、人々の暮らしが変わらなければ、100 年後には、人類はほぼ絶滅という状態になりかねないほどに、地球の温度は上昇してしまう、という。

しかし、楽観は禁物だが、心配は無用だと私は思う。

変わればよいのだ。私も、あなたも、みんなで。

そして、その変化の方向は決して苦しいものではない。

自分が本当に熱中できるもの・打ち込みたいものをみつける。

まずは、これだ。

真剣に生きて、うちこみはじめれば、ムダはへる。まわりのものの大切さが身にしみるようになる。

今は、まだまだ、「なんとなく」というムダが多いのだ。

だから、地球のために、人類のために、まずできることは

自分が本当に熱中できるもの・打ち込みたいものをみつける。

それなら苦しくない。個人のハッピーときちんとつながっている。

それには、書くことが有効だ。

書くことで、自分の気持ちが・やりたいことが見つかっていく。

新しいメルマガを出すことにした。

「自分を変えるライティング！」である。

[http://www.infomag.jp/Site\\_253.html](http://www.infomag.jp/Site_253.html)

「自分にできること」をする。それが一番大事なことだ。

書くことの専門家である私は、このメルマガを出すことから始める。

興味のあるかたはぜひ、登録してほしい、です。

**以上になります。**

本レポートを最後まで、お読みいただき、本当にありがとうございました！